

令和7年度 宮崎県高文連自然科学プレゼンテーション大会 参加要領

(第50回 全国高総文祭秋田大会 自然科学部門 宮崎県予選)

主催 宮崎県高等学校文化連盟 自然科学専門部

1 日 時 令和7年11月2日(日)

2 会 場 宮崎市中央公民館 3F大研修室 2F 中研修室

3 日 程

9:00～9:15 受付、接続確認
9:20～9:35 開会行事
9:40～10:40 研究発表(I)・講評
10:40～10:50 休憩
10:50～11:50 研究発表(II)・講評
11:50～13:00 昼食
13:00～14:00 研究発表(III)・講評
14:10～14:40 審査会(生徒はコメント記入等)
14:40～14:55 閉会行事※作品数によって若干の変更があります。

4 参加対象生徒

第50回全国高等学校総合文化祭(2026あきた総文)自然科学部門への出場を目指す各学校の、自然科学系部活動・同好会に所属している生徒、及び個人で研究活動を行っている生徒

5 参加規程

- (1) 各校は、物理・化学・生物・地学の各分野から、それぞれ1作品ずつ出展可能とする。また、自由選択枠として、これら4分野のうちいずれか1つの分野からもう1作品を追加出展できる。したがって、出展数の合計は最大5作品までとする。
(例1) 物理2、化学1、生物1、地学1 (自由選択枠:物理) (例2) 物理1、化学2、生物0、地学0 (自由選択枠:化学)
※同じ分野から3作品以上は出展できない(例:物理3、生物1は不可)。
- (2) 発表1件の発表者数は指定しません。(参考までに、全国大会ではパソコン操作者も含めて2名以内です。)
- (3) 同じ発表者が、複数の発表をすることはできません。(人数の都合上、パソコン操作のみは可とする。ただし、質疑応答は不可とする。)
- ※参加規程を守らなかった場合は、審査対象外となりますので、十分に注意してください。

6 発表について

- (1) 発表時間は10分以内です。質疑応答は4分以内とします。
(8分経過後にベルを1回、10分経過後にベルを2回、14分経過後にベルを3回鳴らします。)
- (2) 質疑は生徒と審査員からに限らせていただきます。
- (3) パソコンは再生のトラブルを防ぐため、各自持ち込みとします。(詳細は9.発表に関する留意事項)
- (4) 繙続研究の場合、昨年度までに県内および九州大会等で発表した研究内容やデータについては、昨年度までに既出であることを明示して、今回(今年度)発表する内容との区別をしてください。

7 審査観点について

(1)研究論文による事前審査では下記の点を評価する。

I .研究論文のまとめ方は適切であるか。(論文構成、調査・実験方法、再現性、論理性など)

II .研究内容に創意工夫はあるか。(研究の着眼点、オリジナリティなど※)

※継続研究の場合は、テーマそのもののオリジナリティを評価。

(2)口頭発表による当日審査では下記の点を評価する。

I .発表の手段や方法は適切であったか。(プレゼンソフトの使用法やスライド作成技術など)

II .調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。(事実と仮定の明確さ、考察の論理性など)

III .発表の態度はどうであったか。(発表時間は有効に使えたか、質疑応答は的確かなど)

8 表彰ならびに全国大会推薦要項

(1)表彰については、次の通りとします。

最優秀賞…物理、化学、生物、地学部門の最高得点を各1点選出。(計4点)

優秀賞 …物理、化学、生物、地学部門の次点を各1点選出。(計4点)

(2)全国大会への推薦については、次の通りとします。

全国代表	選考対象	選考数・選考規定
口頭発表部門 (計4作品)	本大会の各部門1位 (最優秀)作品	①研究論文が出ていない学校は選考しません(県高文祭でのポスター発表だけの学校も選考しません)。 ②1位が「該当なし」の場合、同じ部門の2位を繰上げ代表とはしません。 ③最優秀賞受賞校が辞退をする場合、優秀賞を繰り上げて代表とするかは審査委員会で協議します。 ④最優秀賞受賞校がポスター発表を選択する場合、優秀賞を繰り上げて代表とするかは審査委員で協議します。 ⑤同一校が4分野のうち複数を占めるることは妨げません。
ポスター部門 (1作品)	本大会の各部門で1位および2位(優秀賞)の最高得点作品	本大会の各部門の最優秀校がポスター発表を選択した場合はその学校に決定します。

(イメージ図)

物理	化学	生物	地学
1位	1位	1位	1位
2位	2位	2位	2位
3位	3位	3位	3位

各部門の1位は、総合得点が高い順に

全国ポスターか全国プレゼンを選びます。

(希望は申し込み時に取ります。)

ポスターが決まれば、他の部門1位はプレゼンとなります。

(1) 1位が全てプレゼン希望だった場合は、2位で最も点の高い発表がポスターに推薦されます。

(2) 1位がポスターを選んだ部門は2位の発表がプレゼンに推薦されるかは、審査委員会で審議します。

※著しく2位の点が低いときなど、審議によって該当無しとする場合もあります。

9 発表に関する留意事項

- (1) プロジェクターとスクリーンおよびアナログ RGB(D-sub 15 ピン)、HDMI のケーブルは準備しますが、パソコンは再生のトラブルを避けるため各自持ち込みとします。
- (2) パソコンはアナログRGBあるいはHDMIの出力端子があるものを準備してください。
- (3) パソコンはLANから離して動作の確認を十分して持ち込んでください。校内LAN上にある動画等のファイルに誤ってリンクを作成していることがあります。
- (4) 電源は準備いたします。レーザーポインターは利用しても構いません。各学校で準備してください。
- (5) 操作は発表する生徒でお願いします。

10 申し込み方法

以下の A、B の2点をご提出ください。

A. 参加申込書

宮崎県高等学校文化連盟のホームページ内にある自然科学専門部のページ(下の QR コード)から「令和7年宮崎自然科学プレゼン大会申込用紙」をダウンロードし、必要事項を記入し、下記までメールまたは FAX にてお申し込みください。

メール: 自然科学専門部代表アドレス m_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp
FAX : 0985-48-0783(宮崎西高校 中原 崇史 宛)
締め切り: 令和7年10月8日(水)必着



B. 事前審査用の研究論文

(1)と(2)いずれかの方法で申し込みをして下さい。

(1)郵送の場合

事前審査用の研究論文7部(A4用紙。様式、ページ数は問いません)を各学校で取りまとめ、直接下記宛先へ郵送して下さい。

〒880-0124 宮崎県宮崎市大字新名爪 4567 番地 宮崎県立宮崎北高等学校 河野健太 宛

(2)メールの場合

事前審査用の研究論文の PDF データ(白黒印刷になります)を自然科学専門部代表アドレスへ送って下さい。

宛先 自然科学専門部代表アドレス m_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp

締め切り: 令和7年10月17日(金)必着

11 問い合わせ先

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町柳ヶ迫 3975 番地 2
中原 崇史 (TEL : 0985-48-1021)

宮崎県立宮崎西高等学校
FAX : 0985-48-0783)